

【日越大学メールマガジン Vol. 15 2018 年 8 月号】

日越大学は、日本とベトナムの両政府により、両国の友好と結束の象徴として新たに設立された大学で、2016 年 9 月にベトナム・ハノイで開校しました。現在修士課程に 2 期生 82 名の学生が在籍し、共通科目の日本語と英語の習得に加え、地域研究 (MAS)、企業管理 (MBA)、公共政策 (MPP)、ナノテクノロジー (MNT)、環境工学 (MEE)、社会基盤 (MIE) の各専攻プログラムを勉強しています。また、2018 年 9 月には、気候変動・開発 (MCCD) が新たなプログラムとして開講し、約 90 名の第 3 期生が入学する予定です。

【今月のトピックス】

1 日越大学ニュース

第 3 期生入学試験について

日越大学では、3 回目となる大学院入学試験を 3 月と 7 月に実施をしました。昨今ベトナムでは、大学院受験者数が毎年約 10% ずつ減少しているといわれる中、日越大学は、第 1 回・第 2 回とほぼ同数の 150 名を超える受験生が集まりました。このうち約 90 名の学生が第 3 期生として 9 月に日越大学の仲間に加わる予定です。第 3 期生の特徴は、なんとといっても「ダイバーシティ」。

第 1 期生・第 2 期生とベトナム人学生だけであったのが、第 3 期生志願者の中には、日本・ミャンマー・中国・ラオス・ナイジェリア・カメルーン・ギニア・リビアと様々な国籍の学生たちが受験をしました。今年の日越大学は、多くの外国人留学生を受け入れ、国際的に最適な学習環境が生まれることと思います。そして、今年新たに開講する「気候変動・開発」プログラムは、ベトナムでも新しい学問として位置づけられています。文理横断型のカリキュラムで実施され、地球規模の問題を多面的に捉えられる人材の育成を目指します。本プログラムには、そのような国際的な社会問題に意識の高い学生が多く集まりました。

第 4 回研究教育評議会開催

8 月 1 日に日越大学において第 4 回研究教育評議会が開催されました。

当日は、越側委員 15 名、日本側委員 5 名の計 20 名が出席し、①2019 年学部開設構想について、②日本学プログラム構成案について、③日越大学学部カリキュラムについて、闊達な議論がおこなわれ、日越大学研究教育評議会として日越大学学部開設構想が承認されました。今後、学部開設に必要な手続き等について、日越双方で協力しながら来年の開設に向けて準備がおこなわれる予定です。



ANA／日越大学コラボレーションインターンシップを開催

ANA ベトナム事務所のご協力を得て、8月13日～18日まで共同でインターンシッププログラムを実施しました。学生のキャリア意識の向上を目的として実施し、日越大学からベトナム人学生3名、法政大学から日本人学生2名が参加しました。航空業界への就職に関心の高い学生が集まり、ANA 事務所、ノイバイ空港の貨物・旅客業務について、日本とベトナムの違いを意識しながら、多くの学びを得る機会となりました。特に、普段見られない航空業界の仕事を、ANA 職員の方々から丁寧に説明を受けた学生たちは、航空業界の仕事のおもしろさ、やりがいを感じ、より強く志望を持ったようです。



ナノテクプログラムの研究論文が著名な学術誌に掲載されました

日越大学ナノテクプログラムの教員と学生による研究チームが執筆した研究論文が「Physical Chemistry Chemical Physics (PCCP)」に掲載されました。PCCPは物理科学、化学物理、生物物理学の最先端の研究を発表する国際的な雑誌で Royal Society of Chemistry の一つとして影響力の強い学術誌です。掲載された論文は、「Diffusion mechanism of Na ion - polaron complex in potential cathode materials NaVOPO₄ and VPO₄ of rechargeable sodium-ion batteries」というタイトルの二次電池の電極材料の開発と第一原理計算で新材料をデザインする内容です。本論文は、大阪大学の支援を得て、JICAから長期専門家として派遣されている、Dr. Dinh Van Anの指導の下、日越大学ナノテクプログラム第1期生2名が執筆をしました。

国立国語研究所 日本語学講習会

8月11日、12日と2日間に渡り、国立国語研究所の主催、日越大学と国際交流基金の協力で、ベトナムの日本語教員を対象とした日本語学のセミナーが開催されました。講義は国立国語研究所の教授 Prashat Pardeshi 先生と、早稲田大学日本語教育センター教授の今井新悟先生により行われ、理論的な内容だけでなく、教育実践にも話が及び、日本語教員の幅広い要望に応えたセミナーとなりました。ハノイでは日本語母語話者教員の参加が多く、後日行われたホーチミンではベトナム人日本語教員の参加が多かったそうです。今後も現地の日本語教育のレベル向上のため、このようなイベントには積極的に協力していきます。

立命館大学、東洋英和女学院大学、拓殖大学から、続々と学生さんが日越大学を訪問

日本が夏休みに入ったので、日越大学には日本の学生さんの訪問者が増えています。最近では、ゼミ視察旅行やフィールドトリップの訪問先として選んでいただける機会が増え、より多くの日本の学生さんたちに日越大学のことを知っていただけるようになりました。今後も、日本人学生さんの訪問は積極的に受け入れていきたいと思っておりますので、ご関心のある方はぜひご連絡ください。

2 今後の主な予定、行事

- ⊕ 9月10日 第3回入学式
- ⊕ 9月10日 茨城大学・日越大学 MOU 調印式
- ⊕ 9月10日～ 第2期生68名が日本でのインターンシップのため渡日開始
- ⊕ 9月21日 ANA ホールディングス・日越大学 包括連携協定調印式
- ⊕ 10月6～7日 JASSO Study in Japan Fair 出展（ハノイ・ホーチミン）



【お問い合わせ先】

日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会

Tel: +84 (0) 247-306-6001

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

日越大学 HP <http://admission.vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook（ベトナム語） <https://www.facebook.com/vju.edu.vn/?fref=ts>

日越大学 Facebook（日本語） <https://www.facebook.com/jicavju/>

JICA HP <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/040/index.html>

【メール配信停止・変更】

本メールマガジンの配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、お手数ですが、日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会 mail.magazine@vju.ac.vn までご連絡頂ければ幸甚に存じます。